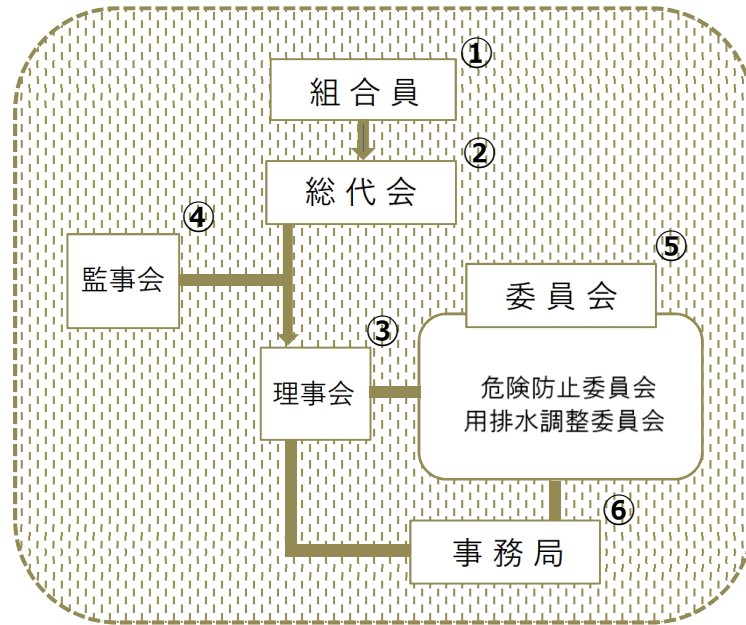


土地改良区ってどんなところ？

土地改良法という法律に基づき、都道府県知事の認可を受け設立された
農業者の組織（公共団体）です。

- ① 組合員
農用地の所有者または使用者
- ② 総代・総代会
組合員の中から、各地域の代表者である「総代」が選出されます。総代によって組織された「総代会」は、土地改良区の最高議決機関です。
- ③ 理事会
土地改良区の代表権を持ち、運営の執行機関となります。
- ④ 監事会
土地改良区の運営を監査します。



このほか、理事会の補助機関である各種「⑤委員会」や運営上の事務を行う「⑥事務局」から成り立っています。

どんな仕事をしているの？

三栗谷用水土地改良区では、足利市の中央を横切る渡良瀬川の南部に位置する山辺・御厨・筑波・梁田・久野の5地区を対象として、次のような業務を行っています。

● 田んぼや畑地の整備を行います

今ある田んぼを広く使いやすい形に整形し、排水や用水路の整備を一体的に行い、生産性が上がるよう造成します。

● 田んぼや畑地に水を送ります

各農家の田んぼや畑地に公平に水がいきわたるように調整しています。

● 農業用施設を管理します

用水路・ため池等、様々な農業用施設が壊れる前に点検・修理し、長く使えるよう管理を行っています。

● きれいな水路を保つ活動をしています

農家や地元の方々にご協力いただきつつ、きれいな水路を保つ活動を行っています。



全国の「土地改良区」では、みなさんにより身近に感じてもらえる組織でありたいと願い、平成14年から「水土里（みどり）ネット」の愛称を用いてその役割や活動を広めています。

発行／三栗谷用水土地改良区
（水土里ネットみくりや）

〒326-0338 栃木県足利市福居町 569-4
TEL/FAX 0284-71-1619
mikuriya1619@crux.ocn.ne.jp

三栗谷用水土地改良区

水を求めて1世紀

昭和 23～26年 1948～51年	昭和 11～20年 1936～45年	昭和 8～9年 1933～34年	明治 23年 1890年	安土桃山時代 1570年ごろ
-----------------------	-----------------------	---------------------	-----------------	-------------------

鉦毒沈殿除去施設として
沈砂池を設ける
(昭和五十八年度まで使用)



完成当時の沈砂池／現 中川町

岡村氏たちの三十回を超える請願が実り
第一次と第三次
県営三栗谷用水幹線改良事業始まる
土水路をコンクリート造に改修
鉦毒汚水を避けるための集水渠を設置

足尾銅山の発展に伴い公害が悪化
初代組合長の岡村 勇と地元農民は
安定した浄水を求めて県庁や銅山への陳情に奔走



おかむら いさみ
岡村 勇
(1880年～1971年)

三栗谷普通水利組合発足

三栗谷堰築造

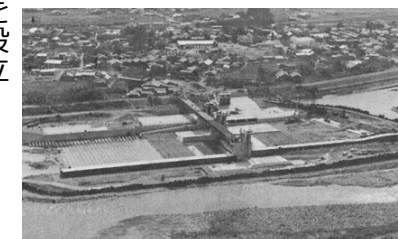
平成 29年 2017年	平成 27年 2015年	昭和 61年 1986年	昭和 46～59年 1971～84年	昭和 31年 1956年	昭和 27年 1952年
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------------	-----------------	-----------------

三栗谷用水本線の大規模改修
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
(三栗谷II地区) 始まる

足利市百頭町と野田町の水路上に
太陽光発電設備を設置

待矢場両堰土地改良区と
渡良瀬川中央土地改良区連合を設立

三栗谷堰・矢場堰・待堰を
合口し太田頭首工を造成



太田頭首工 第1期工事施工状況

事務所竣工



完成当時の事務所／現 福居町

三栗谷普通水利組合から
三栗谷用水土地改良区に組織変更



三栗谷用水を

巡る

三栗谷用水は、足利市南部に広がる通称「三栗谷田圃」と呼ばれる豊かな田園地帯を潤しています。その流れをたどりながら、周辺の主要施設と私たち三栗谷用水土地改良区の役割をご紹介します。



待矢場両堰土地改良区内の水管理システム

おおたとうしゅこう 太田頭首工

群馬県桐生市広沢町地先にある、取水ゲート。三栗谷用水の水はここから取り入れられています。渡良瀬川沿岸に広がる水路網に農業用水を安定供給するため、国営渡良瀬川沿岸農業水利事業（昭和46年～昭和59年）により造成された、渡良瀬川流域では最大規模の頭首工です。

三栗谷用水土地改良区は、太田市の待矢場両堰土地改良区と「渡良瀬川中央土地改良区連合」を設立し、維持管理を行っています。



おげはかぶんすいこう 小瀬墓分水工

水の流れを分ける施設です。写真右側の水は、三栗谷用水土地改良区の受益地へ、左側は太田市を通り邑楽町・館林市方面へと流れていきます。



みくりやのみくち 三栗谷呑口

②で分水された流れを三栗谷の管内に入水させる箇所です。



げんせいこう 減勢工

水の勢いで用水路自体が侵食されないよう、この施設で水流にブレーキをかけてから放流します。



すいじんじんしゃ 水神社

④の減勢工のすぐそばに建っています。境内には、昭和11～20年に行われた三栗谷用水幹線改良事業を記念する碑（写真右）が建っています。



よこてぎき 横手堰

流量を測定するための施設（＝パーシャルフリウム）を設け、適正な水量を「横手分水」「三栗谷幹線」「三カ村分水」へ分水しています。



なかざとぎき 中里堰

「中里梁田加用水」「中里分水」「三栗谷幹線」に分かれます。毎年地域の方々で行う藻刈りの様子(右上写真)は【とちぎのふるさと田園風景百選】に選ばれました。



ふじのみやぎき 藤の宮堰

ここで水路は「藤の宮右口」「藤の宮左口」に分かれます。「右口」は百頭町・県町・羽刈町・小曾根町・高松町へ、「左口」は上渋垂町・下渋垂町・久保田町・瑞穂野町へと水を運びます。



詳しくは表紙参照

三栗谷用水土地改良区事務所



昭和31年2月築造

敷地内にある初代理事長・岡村 勇氏の胸像↑



百頭町



野田町

用水路上を利用した太陽光発電設備の設置を導入。周りを遮るものがない水路はパネルの設置に適しており、順調に稼働しています。土地改良施設の有効活用として期待される事業です。